

TAGS

3AXIS GYRO SYSTEM

Ver. 5.1

補足説明書

JR **PROPO**®

■ はじめに

本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本書は "TAGS MINI V5.1" の追加・変更された機能についての補足説明させていただきます。基本的な使用方法是従来の取扱説明書をご覧ください。

■ TAGS MINI V5.1 の変更点

● コンディション切替機能に "EXTRA (エクストラ)" を追加

TAGS MINI V5.1 では、今までの "NORMAL (ノーマル)" と "STUNT (スタント)" に加え "EXTRA (エクストラ)" を新たに追加。計 3 系統のコンディション切替が可能。

● スワッシュサーボの制御周波数に "760 μ s" を追加

メーカーによって違うスワッシュサーボのニュートラル周波数の選択項目に "760 μ s" を追加。

● ラダー制御パラメータの最適化

ラダーサーボの制御パラメータを最適化。以前のバージョンに比べ "ラダーコントロール" と "フライトフィーリング" が飛躍的に向上。

【1】スワッシュサーボのニュートラルパルスの変更

● ラダーサーボ同様にスワッシュサーボのニュートラルパルス "760 μ s" が選択できます。

ファームウェアバージョン TAGS-MINI 0.5.1

制御パラメータ設定 ゲインモニター オプション設定 システム更新 システムリセット

SETTING1 SETTING2 SETTING3 読み込み 書き込み

ゲイン調整に使用する送信機のチャンネルを設定します。
ゲイン調整として使用するチャンネル指定することで送信機でゲイン調整をおこなうことができます。ゲイン切替CHを設定するとEXTRA用のゲインテーブルを使用することができます。

ゲイン調整CH

AILE ELEV RUDD

INH INH INH

ゲイン切替CH

CONDITION

INH

AUX接続ポートの出力を設定します。
送信機の任意のチャンネルをTAGS本体のAUX接続ポートから出力することが可能になります。INHを設定するとAUX接続ポートからの出力は行いません。

AUX OUT

AUX CH INH

サーボのニュートラルを設定します。
ニュートラルが1500us以外のサーボを使用できます。

SWASH NEUT

ニュートラル 1500 us

RUDD NEUT

ニュートラル 1500 us

GTUNE 1.6.5 を起動します。TAGS MINI とパソコンを GTUNE ケーブルで接続します。つづいて GTUNE の "接続ボタン" を押して画面右上のランプが "緑" になれば接続完了です。

GTUNE の【オプション設定】内の【SETTING2】をクリックします。下段の "SWASH NEUT" の項目で "1500" か "760" を選択。選択後右上の【書き込み】をクリックすれば完了です。

※使用するサーボに合わせてニュートラルパルスを設定してください。

【2】ゲイン切替チャンネル

- ゲイン切替チャンネルを設定することでフライトコンディションを 3 系統に拡張します。

ファームウェアバージョン TAGS-MINI 0.5.1

制御パラメータ設定 ゲインモニター オプション設定 システム更新 システムリセット

SETTING1 SETTING2 SETTING3 読み込み 書き込み

ゲイン調整に使用する送信機のチャンネルを設定します。
 ゲイン調整として使用するチャンネル指定することで送信機でゲイン調整をおこなうことができます。ゲイン切替CHを設定するとEXTRA用のゲインテーブルを使用することができます。

ゲイン調整CH

AILE ELEV RUDD

AUX2 AUX3 GEAR

ゲイン切替CH

CONDITION

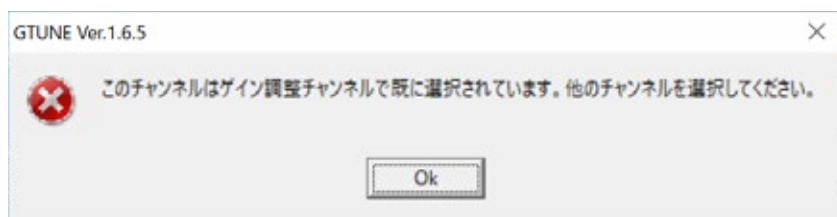
AUX4

AUX接続ポートの出力を設定します。
 送信機の任意のチャンネルをTAGS本体のAUX接続ポートから出力することが可能になります。INHを設定するとAUX接続ポートからの出力は行いません。

AUX OUT

AUX CH INH

サーボのニュートラルを設定します。
 ニュートラルが1500us以外のサーボを使用できます。



オプション設定＞”SETTING2”内の CONDITION でゲイン切替チャンネルを設定します。

※ゲイン切替 CH は AILE・ELEV・RUDD の各ゲイン調整で使用しているチャンネル以外のチャンネルを選択してください。 ※使用中のチャンネルを選択した場合は上記のエラー画面が表示されます。

ゲイン調整チャンネル 1 系統で使用する場合		
ゲイン調整チャンネル		ゲイン切替チャンネル
AILE	GEAR	AUX2
ELEV		
RUDD		

ゲイン調整チャンネル 2 系統で使用する場合		
ゲイン調整チャンネル		ゲイン切替チャンネル
AILE	AUX2	AUX3
ELEV		
RUDD	GEAR	

ゲイン調整チャンネル 3 系統で使用する場合		
ゲイン調整チャンネル		ゲイン切替チャンネル
AILE	AUX2	AUX4
ELEV	AUX3	
RUDD	GEAR	

各項目の設定完了後は必ず右上の【書き込み】ボタンをクリックしてください。

【重要】ゲイン切替チャンネルの出力値とコンディションについて

● 送信機のゲイン切替チャンネルの出力値によってコンディションが切り替わります。

TX チャンネル出力値	コンディション	TAGS MINI 本体の LED	コンディションの状態は GTUNE のゲインモニター または、ジャイロ本体の LED で確認可能
+100%	NORMAL / ノーマル	点 灯	
0%	STUNT / スタント	点 減 (1 回)	
-100%	EXTRA / エクストラ	点 減 (2 回)	

【2-1】コンディションをマニュアル（スイッチ）で切り替える

● 送信機の任意のスイッチでコンディション（3 系統）の切り替えを行います。

■ DEVICE SELECT	[CH]	[DEVICE]	[OUT]
▶ SWASH TYPE	GEAR:	GEAR SW	GYR
	AUX2:	AUX2 SW	GYR
FLIGHT MODE	AUX3:	AUX3 LV	GYR
FMOD SW	AUX4:	RUDD SW	ACT
EXTRA	AUX5:	TAN SW	ACT
AILE SW	AUX6:	HOLD SW	ACT

送信機のシステムメニュー内 "DEVICE SELECT"（デバイスセレクト）を開きます。

GTUNE でゲイン切替チャンネルに設定した【CH】を "ACT" になっていることを確認してください。

※ EXTRA モードの切替に使用するスイッチは必ず "3 ポジションスイッチ" を選択してください。

例) GTUNE で "AUX4" をコンディション切替チャンネルに割り当てた場合

【CH】（チャンネル）→ AUX4（GTUNE で設定したチャンネル）

【DEVICE】（入力デバイスの選択）→ RUDD SW（ラダースイッチ）※任意でスイッチを選択

【OUT】（出力）→ ACT

この作業で "ラダースイッチ" を使って 3 系統のコンディション切替が可能になります。

【動作チェック】送信機と受信機の電源を入れ通信状態にします。パソコンと TAGS MINI を GTUNE ケーブルで接続し、GTUNE のゲインモニターでコンディションの切替状況を確認可能です。または、TAGS MINI 本体の LED でコンディションの確認をする事もできます。

LED	コンディション
点 灯	NORMAL / ノーマル
1 回点減	STUNT / スタント
2 回点減	EXTRA / エクストラ

【2-2】コンディションを送信機のガバナー機能で切り替える

- 送信機のガバナー機能を使いコンディション（3 系統）の切り替えをする事ができます。
ガバナー機能を使う事でフライトモードに連動してコンディション切替が可能になります。

■ DEVICE SELECT	[CH]	[DEVICE]	[OUT]
▶ SWASH TYPE	GEAR:	GEAR SW	GYR
	AUX2:	AUX2 SW	GYR
FLIGHT MODE	AUX3:	AUX3 LV	GYR
FMOD SW	AUX4:	FMOD SW	GOV
EXTRA	AUX5:	TRN SW	ACT
AIL SW	AUX6:	HOLD SW	ACT

送信機のシステムメニュー内 "DEVICE SELECT"（デバイスセレクト）を開きます。

GTUNE でゲイン切替チャンネルに設定した【CH】の【OUT】（出力）を "GOV" に変更します。

GOV に設定すると、ファンクションリストの "GOVERNOR" が使用可能になります。

■ FUNCTION LIST			1/2
D/R & EXP	SERVO SPEED	GYRO SENS	
TRAVEL ADJ.	THRO CURVE	GOVERNOR	
LIMIT ADJ.	PITCH CURVE	SWASH MIX	
SUB TRIM	TAIL CURVE	THRO TRIM	
REVERSE SW	THRO HOLD	PROGRAM MIX1	

■ GOVERNOR			
CH:AUX4	▶ NORMAL:	+100%	ノーマル
LST	STNT-1:	+0%	スタント
TRIM IN:INH	STNT-2:	-100%	エクストラ
	STNT-3:	+0%	スタント
	STNT-4:	+0%	スタント
	HOLD :	+0%	スタント

各フライトモードの値を設定することでコンディションの切り替えが可能です。

TX ゲイン調整 CH 出力値	コンディション	TAGS MINI 本体の LED
+100%	NORMAL / ノーマル	点 灯
0%	STUNT / スタント	点 滅 (1 回)
-100%	EXTRA / エクストラ	点 滅 (2 回)

例) GTUNE で "AUX4" をコンディション切替チャンネルに割り当てた場合

【CH】（チャンネル）→ AUX4（GTUNE で設定したチャンネル）

【DEVICE】（入力デバイスの選択）→ ※ガバナー機能優先

【OUT】（出力）→ GOV

【動作チェック】送信機と受信機の電源を入れ通信状態にします。パソコンと TAGS MINI を GTUNE ケーブルで接続し、GTUNE のゲインモニターでコンディションの切替状況を確認可能です。または、TAGS MINI 本体の LED でコンディションの確認をする事もできます。

【2-3】コンディションをプログラムミキシングで切り替える

- ガバナー機能を使用している場合、送信機のプログラムミキシングでコンディション（3系統）を切り替える事ができます。

■ DEVICE SELECT	[CH]	[DEVICE]	[OUT]
▶ SWASH TYPE	GEAR:	GEAR SW	GYR
	AUX2:	AUX2 SW	GYR
FLIGHT MODE	AUX3:	AUX3 LV	GYR
FMOD SW	AUX4:	FMOD SW	INH
EXTRA	AUX5:	TRN SW	GOV
AILE SW	AUX6:	HOLD SW	ACT

送信機のシステムメニュー内 "DEVICE SELECT"（デバイスセレクト）開きます。

GTUNE でゲイン切替チャンネルに設定した【CH】の【OUT】（出力）を "INH" に変更します。

例） GTUNE で "AUX4" をコンディション切替チャンネルに割り当てた場合

【CH】（チャンネル）→ AUX4（GTUNE で設定したチャンネル）

【DEVICE】（入力デバイスの選択）→ ※ INH なので無効

【OUT】（出力）→ INH

送信機の "PROGRAM MIX" を開き "CURVE"（カーブ）を選択します。

【MASTER】FMOD → 【SLAVE】AUX4 に設定します。

■ PROGRAM	■ PROGRAM MIX1 ▶ ON	IN	OUT	
FMOD → A	FMOD → AUX4	P-L 0	-100	
SW SEL	SW SEL	P-1 33	+100	
		P-2 50	+0	
		P-3 66	+0	
		P-4 83	+0	
		P-H 100	+0	
ADD	DEL	EXP	OFF	IN: 33 OUT: +98

各フライトモードの値を設定することでコンディションの切り替えが可能です。

フライトモードスイッチとフライトモードエクストラスイッチ（任意に設定）を切り替えることで "IN" 値を移動します。【ADD】ボタンでポイントを追加してください。

"OUT" 値を変更することでコンディションを切り替える事ができます。

ポイント	IN 値	フライトモード	OUT値(例)	コンディション(例)	TAGS MINI 本体の LED
P-L	0	HOLD	-100	EXTRA / エクストラ	点 減 (2 回)
P-1	33	NORMAL	+100	NORMAL / ノーマル	点 灯
P-2	50	STNT-1	+0	STUNT / スタント	点 減 (1 回)
P-3	66	STNT-2	+0	STUNT / スタント	点 減 (1 回)
P-4	83	STNT-3	+0	STUNT / スタント	点 減 (1 回)
P-H	100	STNT-4	+0	STUNT / スタント	点 減 (1 回)

- ゲイン切替チャンネルを設定しない場合は従来の設定方法で使用可能です。

- ゲインモニターを確認する際はモーターと ESC のコネクタを外しモーターが回転しないよう注意してください。